

## 削減目標の設定について

## 1. 豊橋市の二酸化炭素排出量について

資料 2-1、2-2、2-3 をまとめると以下のとおりである。

区 分	1990 年から 2012 年までの削減量 (t-CO2)	2005 年から 2012 年までの削減量 (t-CO2)
産業部門	△194,576	△49,831
家庭部門	△8,630	△20,840
業務部門	△97,439	△79,755
運輸部門	△170,158	△82,686
非エネルギー起源	0	0
合 計…①	△470,803	△233,112

この中には本市の施策による削減効果のほか、国や県施策による削減効果も含まれるため按分して算定することとした。

- ・本市の施策による削減効果の見込みは、現行計画の見込み量の割合（10%）とした。
- ・本市の主な独自施策（エコファミリー登録制度、太陽光発電システム設置整備事業）による効果を追加で見込んだ。

区 分	1990 年から 2012 年までの削減量 (t-CO2)	2005 年から 2012 年までの削減量 (t-CO2)
市の削減量 (①×10%)	△47,080	△23,311
エコファミリー登録制度 (平成 22 年から開始)	△6,357	△6,357
太陽光発電システム 設置整備事業 (平成 11 年から開始)	△10,191	△8,592
合 計	△63,628	△38,260

## [必要削減量との比較]

必要削減量 ※ (削減状況)	△146,000 (約 4 割程度)	△104,000 (約 4 割程度)
-------------------	-----------------------	-----------------------

※必要削減量については、現行計画、国の約束草案（新目標）ベースのそれぞれについて、基準年と目標年の排出量をもとに算定した。

## 2. 削減目標の設定について

ここまで、温室効果ガスの排出量の将来推計、市の削減実績を比較してきた。

その結果を踏まえ、現行計画における中期目標

**2020年までに1990年比25%削減**の見直しについて検討が必要である。

### [検証結果等のまとめ]

	現行計画	国の約束草案
中期目標年次	2020年	2030年
削減目標	1990年比 $\Delta 25\%$	2005年比 $\Delta 25.4\%$
削減目標に対する市の削減必要量	$\Delta 146,000\text{t} - \text{CO}_2$	$\Delta 104,000\text{t} - \text{CO}_2$
2012年時点の削減状況	$\Delta 63,628\text{t} - \text{CO}_2$	$\Delta 38,260\text{t} - \text{CO}_2$

### [設定のための検討項目]

- ・中期目標年次の変更 ⇒ 現行計画の2020年に対して国の約束草案は2030年となった。
- ・削減目標の変更 ⇒ 現行計画では「2020年までに1990年比25%削減」に対して国の約束草案は「2030年までに2005年比25.4%削減」となった。